

FY2024 2Q

2024年度第2四半期 決算説明資料

2024年11月11日

1. 2024年度 第2四半期実績
2. 2024年度 通期業績予想
3. 参考資料

1

2024年度 第2四半期実績

2024年度 第2四半期累計実績

(単位：億円)

	FY2023 2Q累計実績	FY2024 2Q累計実績	前年 同期比	FY20242Q 累計修正予想 (24年8月)
売上高	2,710	3,160	+449	3,150
営業利益	88	47	▲41	90
ブラマー カカオ特殊要因	-	▲99	-	▲31
カカオ特殊要因を 除く実質営業利益	-	146	-	121
経常利益	83	24	▲59	65
親会社株主に帰属する 中間純利益	124	10	▲114	40

売上高 3,160億円 前年同期比 +449億円

業務用チョコレート事業での原材料価格上昇に伴う販売価格の上昇や、植物性油脂事業での東南アジアの販売数量の増加、円安の影響により増収。

営業利益 47億円 前年同期比 ▲41億円

植物性油脂事業における東南アジアでのチョコレート用油脂CBE*の販売伸長や、業務用チョコレート事業における日本、東南アジアなどでの販売数量が増加した一方、米国ブラマーでのカカオに関連した特殊要因（以下、カカオ特殊要因）の増加により減益。

中間純利益 10億円 前年同期比 ▲114億円

営業減益に加え、前年同期のフジオイルニューオリンジの固定資産譲渡による特別利益の反動により減益。

* CBE：Cocoa Butter Equivalentの略。カカオバターに似た性質を持つ代用可能なチョコレート用油脂。主な原料は、パーム、ヒマワリ、シア。
カカオバターにはない機能性を付与することも可能。

(注) 業務用チョコレート事業・ブラマーは決算期変更に伴い、2023年度2Q累計実績は2023年2～7月、2024年度2Q累計実績は2024年4～9月の損益計算書を連結しています。

2024年度 第2四半期累計実績／事業別

(単位：億円)

	FY2023 2Q累計実績	FY2024 2Q累計実績	前年 同期比
売上高	2,710	3,160	+449
植物性油脂事業	928	967	+39
業務用チョコレート事業	1,166	1,559	+393
乳化・発酵素材事業	436	453	+17
大豆加工素材事業	180	181	+1
営業利益	88	47	▲41
植物性油脂事業	75	108	+33
業務用チョコレート事業	7	▲66	▲73
カカオ特殊要因を除く 業務用チョコレート事業	-	33	-
乳化・発酵素材事業	14	17	+3
大豆加工素材事業	10	8	▲2
グループ管理費用等	▲18	▲21	▲3
営業利益率	3.2%	1.5%	▲1.8pt

事業別 営業利益

 植物性油脂

- ・日本、東南アジア、欧州では、チョコレート用油脂CBEの販売が伸長。
- ・原材料価格の安定により採算性が改善。

 業務用チョコレート

- ・日本では、土産・冷菓向けの販売が伸長。
- ・東南アジアでは、製パン向けの販売が伸長。
- ・米国ブラマーでは、シカゴ工場閉鎖による固定費の減少があるものの、カカオ特殊要因により減益。

 乳化・発酵素材

- ・日本では、マーガリンやフィリング等、製パン向けの販売が堅調。
- ・東南アジアでは、日本向け調製品の販売数量が増加。

 大豆加工素材

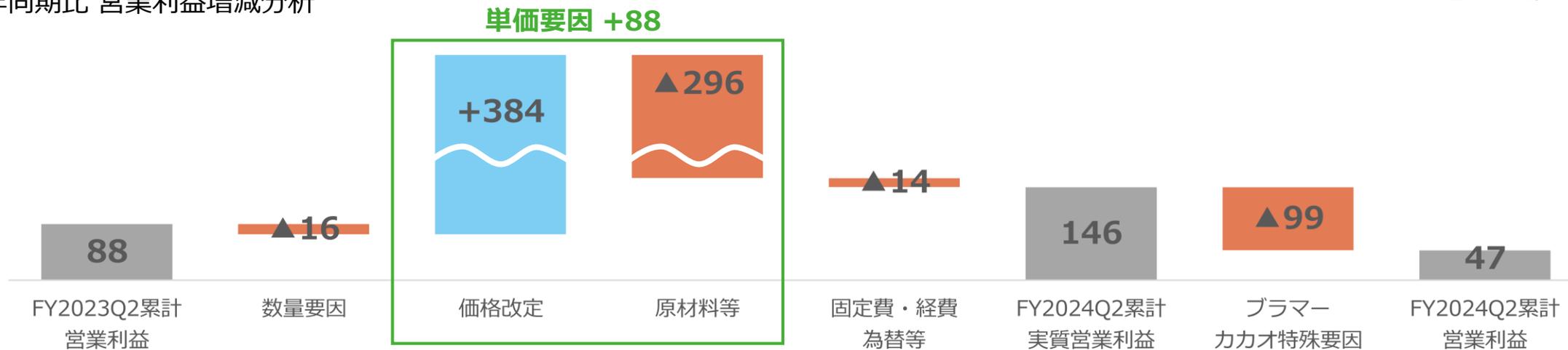
- ・日本の販売数量が減少。

2024年度 第2四半期累計営業利益増減分析（前年同期比）

CBEやコンパウンドチョコレートが牽引し、実質営業利益は146億円を達成。
一方で、ブラマーのカカオ特殊要因が大きく発生。

前年同期比 営業利益増減分析

（単位：億円）



数量要因	ブラマーのシカゴ工場閉鎖による販売減少が主因だが、植物性油脂事業の東南アジアや、業務用チョコレート事業の日本や東南アジアは伸長。
単価要因	業務用チョコレート事業でのカカオ価格高騰に対応した販売価格改定を実施。
固定費・経費・為替等	ブラマーのシカゴ工場閉鎖による寄与も、各エリアで人件費等が上昇。
ブラマーカカオ特殊要因	カカオ価格高騰により、先物限月乗換コストや販売期ズレ等が大幅に増加。 （カカオ特殊要因については7~10ページ参照）

第2四半期におけるブラマーを取り巻く環境①

第2四半期期間中は、カカオ価格はボラタイルな状況で推移、加えて、期先安の環境が続き先物限月乗換コストが増加。

第2四半期(3ヶ月)の外部環境

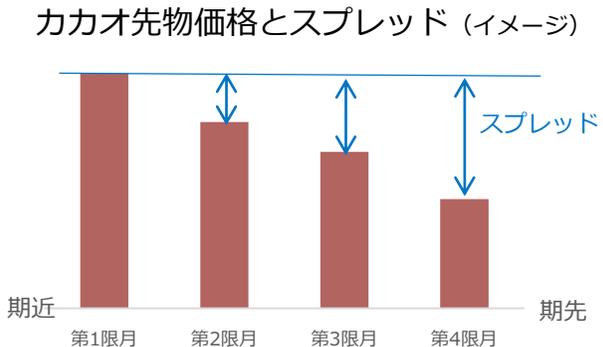
カカオ価格

2024年7~9月は、4月の急騰から下落傾向となったが、24年産力カオ（新穀）の供給見通しを見極める展開となり、ボラタイルな状況で推移。



カカオ先物市場の限月間値差（スプレッド）

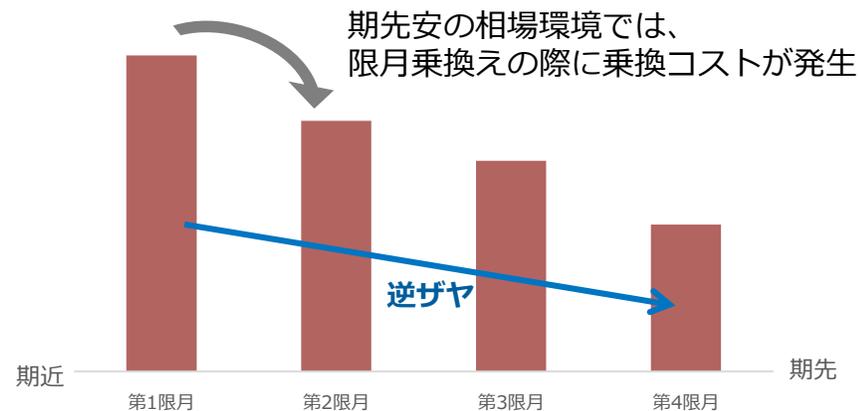
カカオの供給不足の懸念から、期近のカカオ価格が高止まりする中、新穀への期待感から先物は価格変動が限定的となり、期先安で限月間値差（スプレッド）が急拡大する展開へ。



スプレッド拡大のブラマーへの影響

ブラマーでは、先物市場を利用して、カカオの価格変動リスクをヘッジしている。

第2四半期に、先物市場において限月間値差（スプレッド）が急拡大した結果、限月間乗換コストが大幅に増加。販売価格への転嫁を進めたが、コスト増をすべて吸収することができず、大幅な営業赤字となった。



第2四半期におけるブラマーを取り巻く環境②

下期に入り、限月間値差（スプレッド）は大きく縮小、価格転嫁を進める。

スプレッドの推移

第1四半期では供給懸念から期近のカカオ価格が上昇し、スプレッドは拡大して推移した。

第2四半期では期近のカカオ価格が高止まる中、新穀の収穫期待から先物価格が弱含み、スプレッドがさらに拡大する展開となったが、第3四半期に入り、スプレッドは大きく縮小して推移している。



出所：自社調べ

(注) スプレッド = 第1限月 - 第2限月 で算出。

ブラマーへの影響と先物限月乗換コストの改善に向けた対応

2024年度上期

第1四半期以降スプレッドが段階的に拡大し、先物限月乗換コストが急増、価格転嫁を進めたが、その効果が表れるのは下期以降となる為、その他関連費用を含め、上期先物限月乗換コストは▲92億円となった。

2024年度下期以降

新穀の収穫、供給改善の期待からスプレッドは大幅に縮小、価格転嫁を着実に実行し、上期の損失の圧縮を図るとともに、管理体制の強化を図る。

第2四半期におけるブラマーの業績分析

先物評価、販売期ズレは想定並みで推移したものの、先物限月乗換コストが大きく発生し、上期の営業利益は大きく減益。

	FY2023 2Q累計実績	FY2024 1Q実績	FY2024 2Q実績	FY2024 2Q累計実績	前年 同期比
販売数量（前年同期比）	-	84%	77%	80%	-
売上高	627億円	438億円	468億円	906億円	+279億円
営業利益 （のれん償却除く）	▲12億円	13億円	▲127億円	▲114億円	▲102億円
カカオ特殊要因	-	22億円	▲121億円	▲99億円	-
カカオ特殊要因を除く 営業利益（のれん償却除く）	▲12億円	▲8億円	▲6億円	▲14億円	▲3億円

* のれん償却は、広義ののれん償却。

		1Q実績	1Q実績と2Q想定	2Q実績	2Q実績の内容
カカオ 特殊 要因	先物 評価	22億円	1Qに評価益が22億円発生 2Qは反対に評価損発生を見込む。	▲4億円	2Q(3ヶ月)では評価損益は 大きく変動せず。
	販売 期ズレ	—	2Qに販売期ズレ(販売価格に先んじた 仕入価格上昇)▲31億円を見込む。	▲25億円	チョコレート需要の減少等を背景に、 販売期ズレによる損失が発生。
	先物限月 乗換 コスト	—	カカオ先物相場のスプレッドは 1Q並みで推移すると想定。	▲92億円	カカオ相場のスプレッドが7月下旬より 急拡大、限月乗換コストが大幅に増加。
カカオ特殊要因を除く 営業利益（のれん償却除く）		▲8億円	販売数量は計画並み。 シカゴ閉鎖による固定費減少。	▲6億円	ピュアチョコレートの販売が低調。 シカゴ閉鎖に関する追加費用が発生。

ブラマーの下期の想定と今後の施策

下期にシカゴ工場閉鎖によるコストダウン効果やカカオ特殊要因の改善を見込むものの、業績改善は期初想定より遅れる見通し。

	FY2024 下期修正予想	FY2024 通期修正予想	FY2024 通期期初予想	FY2023 実績
売上高	876億円	1,782億円	1,461億円	1,321億円
営業利益 (のれん償却除く)	49億円	▲65億円	10億円	▲52億円
カカオ特殊要因	30億円	▲69億円	-	-
カカオ特殊要因を除く 営業利益(のれん償却除く)	19億円	4億円	-	-

* のれん償却は、広義ののれん償却。

下期予想

カカオ特殊要因		金額	説明
先物評価	15億円	24年度期末に向けてカカオ相場下落による評価益を想定。	
販売期ズレ	▲10億円	販売価格の上昇及び仕入価格の低下によって改善を見込むも、販売期ズレは一部継続。	
先物限月乗換コスト	25億円	上期から実行している価格転嫁の効果を見込む。	

基礎収益力の向上に向けた取り組み

2024年3月に公表した構造改革を着実に実行することで、収益性の回復及び、カカオ加工事業の適正化によるボラティリティの低減を図る。
また、上期に発生した先物限月乗換コストの圧縮に向け、価格転嫁を進めると同時に、管理体制を見直し、収益管理・リスク管理を強化する。

構造改革の進捗

シカゴ工場の閉鎖

上期にてコストダウン効果は13百万ドル*。
通期では計画どおりの実現を見込む。
*工場閉鎖による固定費削減と粗利の減少をネットした金額

カカオ加工事業の適正化

シカゴ工場閉鎖に伴い、カカオ加工事業は縮小。
カカオ豆在庫数量も削減が進んでおり、来年度にかけても対応継続する。

差別化戦略の推進

ELEVATE (CBEチョコレート)のマーケティングは好調。
拡販を進める。



CBEを使用した「ELEVATE」

第2四半期累計：売上高・営業利益（事業別・所在地別マトリクス）

(単位：百万円)

売上高	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
			YOY		YOY		YOY		YOY		YOY		YOY
植物性油脂	FY2024 2Q	29,549	+1,809	27,804	▲5,542	17,970	+6,409	1,878	+129	19,492	+1,099	96,695	+3,906
	FY2023 2Q	27,740	+1,321	33,347	▲6,737	11,560	▲5,366	1,748	▲24	18,392	+2,236	92,789	▲8,570
	FY2022 2Q	26,419	-	40,084	-	16,927	-	1,772	-	16,156	-	101,360	-
業務用 チョコレート	FY2024 2Q	24,838	+3,451	106,954	+29,136	13,078	+3,919	5,553	+2,153	5,491	+644	155,915	+39,304
	FY2023 2Q	21,386	+2,020	77,818	+5,898	9,159	+1,420	3,400	+356	4,846	+1,410	116,611	+11,105
	FY2022 2Q	19,366	-	71,920	-	7,739	-	3,043	-	3,436	-	105,505	-
乳化・発酵素材	FY2024 2Q	29,097	+784	-	-	7,806	+714	8,377	+159	-	-	45,281	+1,658
	FY2023 2Q	28,313	+988	-	-	7,091	▲1,029	8,217	▲985	-	-	43,622	▲1,026
	FY2022 2Q	27,325	-	-	-	8,120	-	9,203	-	-	-	44,648	-
大豆加工素材	FY2024 2Q	17,701	+154	-	-	-	-	334	▲133	30	+30	18,066	+51
	FY2023 2Q	17,546	+1,188	-	-	-	-	468	▲57	0	+0	18,014	+1,131
	FY2022 2Q	16,357	-	-	-	-	-	525	-	-	-	16,883	-
売上高計	FY2024 2Q	101,187	+6,199	134,759	+23,593	38,855	+11,044	16,143	+2,308	25,014	+1,774	315,959	+44,921
	FY2023 2Q	94,987	+5,518	111,165	▲839	27,811	▲4,975	13,834	▲710	23,239	+3,646	271,038	+2,639
	FY2022 2Q	89,468	-	112,004	-	32,787	-	14,545	-	19,593	-	268,398	-

営業利益	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
			YOY		YOY		YOY		YOY		YOY		YOY		YOY		YOY
植物性油脂	FY2024 2Q	3,634	+800	2,580	+151	2,670	+2,040	99	+96	1,863	+355	▲5	▲139	-	-	10,842	+3,305
	FY2023 2Q	2,833	+1,918	2,428	+2,568	630	▲1,715	3	+96	1,507	+978	133	+351	-	-	7,536	+4,198
	FY2022 2Q	915	-	▲140	-	2,346	-	▲93	-	529	-	▲218	-	-	-	3,338	-
業務用 チョコレート	FY2024 2Q	3,282	+636	▲12,704	▲9,803	1,797	+1,221	420	+405	664	+339	▲78	▲109	-	-	▲6,617	▲7,308
	FY2023 2Q	2,646	+322	▲2,900	▲2,921	575	+411	14	+81	325	+179	30	▲25	-	-	691	▲1,952
	FY2022 2Q	2,323	-	21	-	164	-	▲66	-	145	-	56	-	-	-	2,644	-
乳化・発酵素材	FY2024 2Q	1,680	+295	-	-	127	+253	64	▲120	-	-	▲131	▲133	-	-	1,741	+294
	FY2023 2Q	1,385	+598	-	-	▲126	+520	184	+386	-	-	2	▲101	-	-	1,446	+1,403
	FY2022 2Q	787	-	-	-	▲647	-	▲201	-	-	-	103	-	-	-	42	-
大豆加工素材	FY2024 2Q	1,026	▲170	-	-	-	-	82	▲30	▲400	▲9	92	+39	-	-	801	▲170
	FY2023 2Q	1,197	+272	-	-	-	-	113	▲38	▲391	▲256	52	+58	-	-	972	+36
	FY2022 2Q	924	-	-	-	-	-	152	-	▲134	-	▲6	-	-	-	935	-
連結調整	FY2024 2Q	65	▲1	▲21	▲9	▲29	▲51	6	+5	29	▲37	▲131	+19	-	-	▲80	▲75
	FY2023 2Q	67	▲24	▲11	▲7	21	+29	1	▲9	67	+139	▲150	▲115	-	-	▲4	+10
	FY2022 2Q	92	-	▲3	-	▲7	-	10	-	▲71	-	▲34	-	-	-	▲14	-
グループ 管理費用	FY2024 2Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲2,031	▲189	▲2,031	▲189
	FY2023 2Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲1,842	+38	▲1,842	+38
	FY2022 2Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲1,880	-	▲1,880	-
営業利益計	FY2024 2Q	9,690	+1,561	▲10,145	▲9,661	4,566	+3,463	673	+355	2,157	+648	▲254	▲323	▲2,031	▲189	4,655	▲4,144
	FY2023 2Q	8,129	+3,086	▲484	▲360	1,102	▲753	317	+516	1,509	+1,041	68	+166	▲1,842	+38	8,800	+3,735
	FY2022 2Q	5,042	-	▲123	-	1,856	-	▲199	-	468	-	▲98	-	▲1,880	-	5,065	-

2

2024年度 通期業績予想

2024年度 通期業績予想

(単位：億円)

	FY2023 通期実績	FY2024 修正予想	前期比	FY2024 期初予想
売上高	5,641	6,450	+809	6,000
営業利益	182	235	+53	200
ブラマー カカオ特殊要因	-	▲69	-	-
カカオ特殊要因を 除く実質営業利益	-	304	-	-
経常利益	168	185	17	160
親会社株主に帰属する 当期純利益	65	120	55	100

売上高 6,450億円 前期比 +809億円

業務用チョコレート事業での原材料価格上昇に伴う販売価格の上昇や、植物性油脂事業での東南アジアの販売数量の増加などにより増収を計画。

営業利益 235億円 前期比 +53億円

米国ブラマーでのカカオ特殊要因はあるものの、植物性油脂事業における東南アジアでのチョコレート用油脂CBEの販売伸長や、業務用チョコレート事業における東南アジアなどでの販売数量の増加により増益を計画。

当期純利益 120億円 前期比 +55億円

営業増益に加え、前年度のブラマーに係る特別損失の反動により、増益を計画。

(注) 業務用チョコレート事業・ブラマーは決算期変更に伴い、2023年度は2023年2月～2024年1月、2024年度は2024年4月～2025年3月の損益計算書を連結しています。

2024年度 通期業績予想／事業別

(単位：億円)

	FY2023 通期実績	FY2024 修正予想	前期比	FY2024 期初予想
売上高	5,641	6,450	+809	6,000
植物性油脂事業	1,854	1,956	+102	1,874
業務用チョコレート事業	2,534	3,221	+687	2,805
乳化・発酵素材事業	899	916	+17	950
大豆加工素材事業	355	357	+2	371
営業利益	182	235	+53	200
植物性油脂事業	154	196	+41	123
業務用チョコレート事業	18	45	+26	74
カカオ特殊要因を除く 業務用チョコレート事業	-	114	-	-
乳化・発酵素材事業	38	31	▲7	35
大豆加工素材事業	10	9	▲2	14
グループ管理費用等	▲39	▲45	▲6	▲46
営業利益率	3.2%	3.6%	+0.4pt	3.3%

事業別 営業利益



植物性油脂

上期での原材料価格の安定による採算性の改善に加え、東南アジアを中心としたチョコレート用油脂CBEの販売伸長を見込み、増益を計画。



業務用チョコレート

ブラマーでのカカオ特殊要因はあるものの、各エリアでのカカオ価格高騰に対応した販売価格の改定やコンパウンドチョコレートの堅調な販売により、増益を計画。



乳化・発酵素材

東南アジアでの販売回復は見込むものの、日本での販売数量の減少や中国での採算性低下により、減益を計画。



大豆加工素材

日本での販売数量減少により減益を計画。

2024年度 通期営業利益増減分析（期初予想比）

期初予想比では、カカオ特殊要因はあるものの、CBEやコンパウンドチョコレートの伸長を見込む。

期初予想比 営業利益増減分析

（単位：億円）



植物性油脂事業	上期での原材料価格の安定による採算性の改善に加え、チョコレート用油脂CBEの販売伸長を見込む。
ブラマー	販売数量の減少やカカオ特殊要因により減益を見込む。
業務用チョコレート事業 (ブラマー除く)	カカオ価格高騰に応じた販売価格適正化やコンパウンドチョコレートの拡販により改善を見込む。
その他	乳化・発酵素材事業では中国での販売数量減少、大豆加工素材では一部製品の販売数量減少を見込む。



植物性油脂事業

チョコレート用油脂CBEの需要増加により、2024年度下期や来期の業績押し上げ効果を見込む。

2024年度 上期 営業利益 **108**億円（前年同期比+**33**億円）

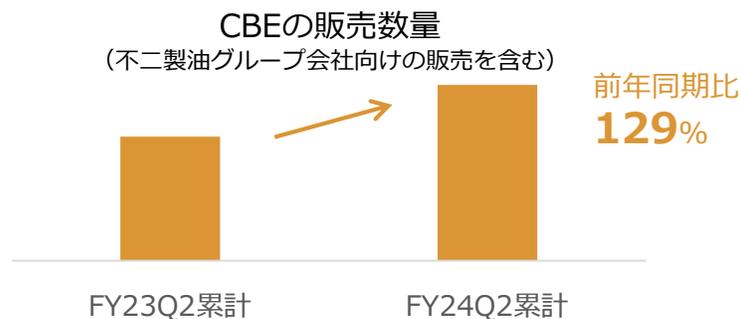
原材料価格の安定に加え、CBEの伸長により収益性が向上。

市場環境

主原料価格は安定的に推移し、収益の安定に寄与。

販売数量・販売単価

カカオ価格高騰を背景に、新規・既存顧客でのCBEに対する強い需要が継続。特に東南アジアでは需要が強く、生産効率化も寄与し、大きく伸長。



上期では、カカオ価格高騰以前の販売契約が中心だが、短期間のスポット契約にも対応。顧客へのフォロー、物流の最適化、認証油などのこれまでの取り組みにより、収益性が向上。

2024年度 下期 営業利益 **87**億円（前年同期比+**8**億円）

顧客へのフォロー、安定生産の継続により販売伸長を計画。

市場環境

パーム油価格等の上昇に対応した価格改定を実施。カカオ価格の落ち着きはあるものの、今後もCBEの安定した需要を見込む。

CBE 拡販に向けて

CBEの機能性を訴求し、顧客への継続的なフォローを行うとともに、需要に応えられるよう供給体制を整備。

販売

CBEの機能性を訴求し、新規顧客での利用拡大や既存顧客へのフォローを継続。

調達

CBE用原料の調達強化を継続。サステナブル調達においては、東南アジアでの合弁会社の設立(2026年度稼働予定)により、更なる調達強化を図る。

生産

グループ間での中間原料の調整や各工場での安定生産に向けた取り組みにより、高まる需要に対応。

業務用チョコレート事業

米国ブラマーを除く業務用チョコレートの各エリアの販売数量・利益は拡大。 ※ブラマーについては7~10ページ参照

2024年度 上期

業務用チョコレート事業 (米国ブラマー除く)
営業利益 **63**億円 (前年同期比+**27**億円)

カカオ価格は高水準で推移するも、カカオ高を見据えた、原材料の確保、価格の適正化、CBEを使用したコンパウンド製品の展開により顧客需要に対応。

2024年度 下期

業務用チョコレート事業 (米国ブラマー除く)
営業利益 **77**億円 (前年同期比+**9**億円)

カカオ高の環境下においても、コンパウンド・高付加価値製品の拡大により持続的な成長を実現する。

市場環境

カカオ生産量が限られる中で、今後も世界のチョコレート菓子市場は拡大が予想される。

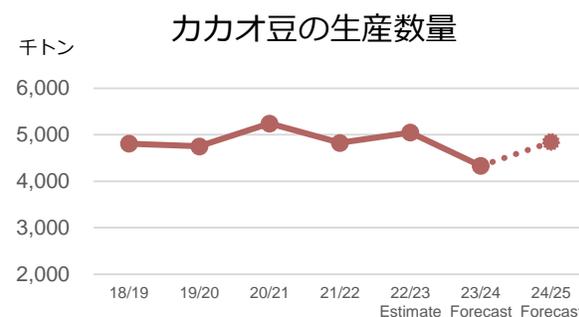
販売数量

ブラマーを除く各エリアでは前年同期比105%(上期実績)
特に東南アジア、欧州での販売が好調。

単価

カカオ高に対応した価格改定を実施。

業務用チョコレート事業 上期販売数量推移
(ブラマー除く。2021年度上期を100)



参照：ICCO 24/25Forecastは自社調べ



参照：Euromonitor Chocolate Confectionery 2024
Data type: Retail Value RSP, Geography: world,
Category: chocolate confectionery

高付加価値化

CBEを使用したコンパウンド製品や、高付加価値製品の開発により収益拡大を目指す。

日本：小容量でも使用可能なトレーに入れたコーティングチョコレート。外食店での作業性改善に貢献。



乳化・発酵素材事業 / 大豆加工素材事業

変化する市場ニーズを捉えた製品展開を進め、高付加価値化を図る。

乳化・発酵素材事業

2024年度 上期 営業利益 **17**億円 (前年同期比+**3**億円)

日本 市場ニーズを捉えた提案営業により、マーガリンやフィリング等、製パン向けの販売が堅調に推移。

東南アジア 日本向け調製品の販売数量が増加。

中国 景気の先行きへの不透明感から消費者の節約志向が強まり、廉価版商品への需要がシフトし、採算性が低下。

2024年度 下期 営業利益 **14**億円 (前年同期比▲**10**億円)

市場ニーズに対応した高付加価値製品の拡販を継続。

乳製品の国際相場上昇に伴い、クリーム、マーガリン等の需要増を見込み、拡販。

引き続き景況感の低迷は見込むものの、消費者需要の堅調な市場に対し重点的に取り組む。



パンとしては、少し贅沢、だけど、スイーツの代わりになる菓子パンはコストが良く、**今売れる商品**。市場ニーズを捉えた提案営業を推進

大豆加工素材事業

2024年度 上期 営業利益 **8**億円 (前年同期比▲**2**億円)

日本 一部製品での販売数量の減少はあったものの、高付加価値製品の製品化・採用が進む。事業の再編として、国内1工場を2024年7月に譲渡。

2024年度 下期 営業利益 **1**億円 (前年同期比+**0**億円)

大豆たん白素材、機能剤では、市場ニーズに対応した高付加価値製品の拡販を継続し、製品ポートフォリオの入替を進める。

サステナビリティの取り組みによる価値創造

サステナビリティの率先した取り組みにより、顧客貢献を果たす。

規制・顧客ニーズなど

EU森林破壊防止規則 (EUDR)

EU域内で流通、EUから輸出される製品に対して、「森林破壊フリー」及び「生産国の関連法規遵守」を証明することが義務付けられる規則。対象品目にはパーム油やカカオなどが含まれる。

油脂中のプロセスコンタミナントの低減

油脂中に含まれる微量成分（プロセスコンタミナント）をコントロールした製品ニーズが欧州を中心に増加。

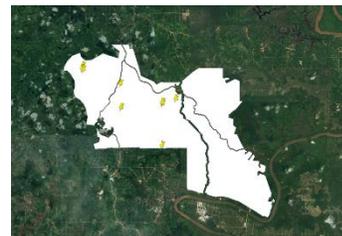
プロセスコンタミナント
食品の製造工程での高温加熱などによって原料に元々含まれる脂質から偶発的に生じる物質や、サプライチェーン上で意図せず混入する物質のこと

不二製油グループの取り組み

パーム農園までの高いトレーサビリティに基づき、モニタリングや施策を実施。

衛星写真によるモニタリング

衛星技術を活用してグループのサプライチェーンにおける森林破壊リスクの特定・モニタリング・検証を実施。



サプライチェーンにわたる取り組み



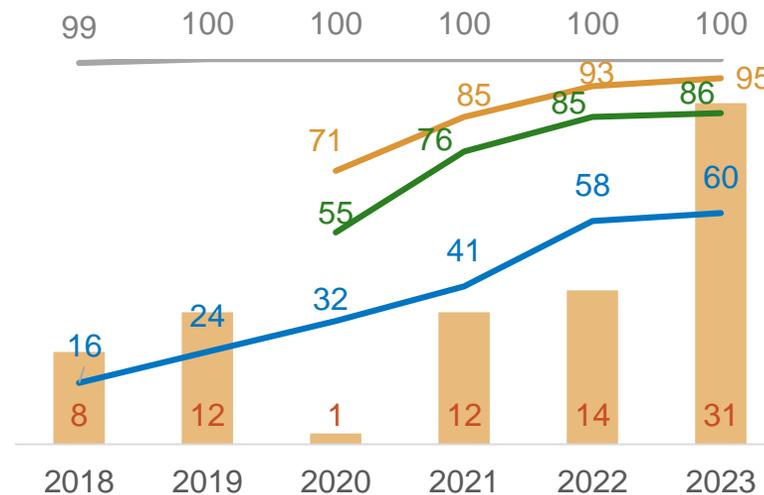
良質な原料を調達
サプライヤーの選定

コンタミナントの生成
や混入を最小化する
製法の検討

利益への貢献

植物性油脂事業では、原材料価格が業績へ影響を与えるが、パーム油のサステナビリティの取り組みが欧州の油脂事業の利益へ寄与。

不二製油グループのパーム油各種指標と植物性油脂事業(欧州)の営業利益推移



■ 油脂欧州営業利益(億円)
— 搾油工場までのトレーサビリティ(TTM)(%)
— 農園までのトレーサビリティ(TTP)(%)
— パーム油調達に占めるRSPO認証油比率(%)
— No Deforestation Score

* 油脂欧州営業利益の2019年度は2019年4月から翌3月の12ヶ月実績

植物性食への取り組み：GOODNOON

植物性にこだわったGOODNOON活動を通じて、新たな事業サイクルの確立を目指す。

GOODNOON

植物性素材で食の選択肢を増やし、誰もが食事を楽しめる世界を目指す。

消費者視点での新たな事業サイクルにより、新規事業の創出を図る。



キラープロダクト投入

各事業の技術融合によりGOODNOON製品を続々発売

MIRA-Dashi® シリーズ
植物性の風味素材（ダシ）



ソイレブルシリーズ
植物性のバター様素材（豆乳クリームバター）



プライムソイミートシリーズ
新製法による大豆ミート



プラントベースチョコレート
乳不使用のチョコレート



情報発信

WEBサイトでの情報発信や全社を挙げた活動を展開

WEBサイト



GOODNOONやMIRACORE®のWEBサイト

社内での活動



GOODNOON製品を使用した社食



レシピコンテスト

社内でのレシピコンテストを開催

手軽に“買える”を実現

ECサイトの活用や、キラープロダクトを活用したBtoB、BtoC製品をグループ会社より発売

BtoC向けECサイトでの販売



ECサイトにて消費者向けに販売

BtoC向け製品の発売（フジフレッシュフーズ）



MIRA-Dashi®やプライムソイミートを小売の販売形態に

BtoB向け製品の拡充（フジサニーフーズ）



OEMにより加工度を高め顧客が使用しやすい製品に

FUJI ROICの改善に向けた取り組み

課題である業務用チョコレート事業、大豆加工素材事業に対し、改善策を実行中。

事業別FUJI ROICの進捗

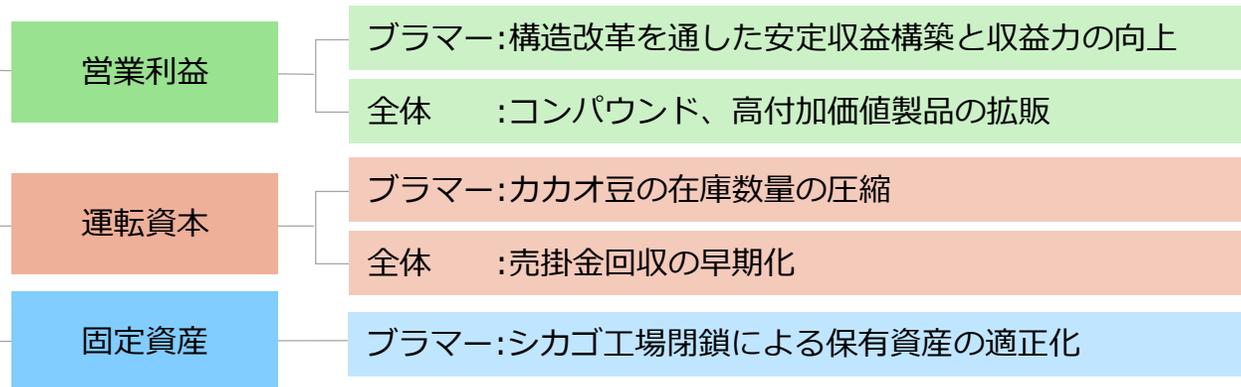
$$\text{FUJI ROIC} = \frac{\text{税引後営業利益}}{\text{運転資本} + \text{固定資産}}$$

	2023年度 通期*	2023年度 2Q累計*	2024年度 2Q累計*
植物性油脂	11.5%	5.4%	8.1%
業務用 チョコレート	2.5%	1.3%	▲2.3%
乳化・発酵素材	5.5%	2.0%	2.7%
大豆加工素材	1.1%	1.3%	1.1%
全社	3.5%	1.6%	0.8%

*FUJI ROICは、年率修正は行っておらず、
通期は12ヶ月、2Q累計は6ヶ月の税引後営業利益を使用。

FUJI ROIC 2024年度改善施策

 業務用チョコレート事業 FUJI ROIC ▲2.3% (2024年度2Q累計)



 大豆加工素材事業 FUJI ROIC 1.1% (2024年度2Q累計)



B/S・C/F

B/S

(単位：億円)

	FY2023期末	FY2024Q2期末
現預金等	275	349
棚卸資産 (商品及び製品・原材料及び貯蔵品)	1,090	1,261
のれん	218	191
資産合計	4,702	5,018
有利子負債	1,303	1,929
負債合計	2,259	2,780
利益剰余金	1,638	1,562
為替換算調整勘定	391	304
純資産合計	2,443	2,238

2024年度 第2四半期末

- 資産 カカオ高などの影響により棚卸資産が増加。
- 負債 カカオ高による運転資本の増加に伴い有利子負債が増加。
- 純資産 利益剰余金や、為替の影響による為替換算調整勘定が減少。

C/F

(単位：億円)

	FY2023Q2	FY2024Q2
売上債権の増減額 (▲は増加)	▲6	▲79
棚卸資産の増減額 (▲は増加)	▲20	▲210
営業CF	▲16	▲266
投資CF	164	▲89
FCF	148	▲355
短期借入金の純増減額 (▲は減少)	▲29	349
財務CF	▲69	438

2024年度 第2四半期

- 営業CF カカオ高に伴う、売上債権及び棚卸資産等、運転資本の増加により支出が増加。
- 投資CF 前年同期比では、前期のフジオイル ニューオリンズの有形固定資産の売却による収入の反動により減少。
- 財務CF 運転資本の増加等に伴う短期借入金等が増加。

引き続き、カカオ高によるB/S・C/Fへの影響に対し、グループ全体で資金管理を強化し対応

通期：売上高・営業利益（事業別・所在地別マトリクス）

(単位：百万円)

売上高	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
			YOY		YOY		YOY		YOY		YOY		YOY
植物性油脂	2024 修正予想	63,300	+6,287	56,300	▲6,714	33,000	+6,514	3,600	+281	39,400	+3,880	195,600	+10,249
	2024 期初予想	59,000	+1,987	60,900	▲2,114	26,000	▲485	3,600	+281	37,900	+2,380	187,400	+2,049
	2023 実績	57,012	-	63,014	-	26,485	-	3,318	-	35,519	-	185,350	-
業務用 チョコレート	2024 修正予想	53,100	+6,793	218,500	+48,324	27,000	+7,425	12,900	+5,023	10,600	+1,124	322,100	+68,691
	2024 期初予想	49,400	+3,093	185,000	+14,824	26,600	+7,025	9,400	+1,523	10,100	+624	280,500	+27,091
	2023 実績	46,306	-	170,175	-	19,574	-	7,876	-	9,475	-	253,408	-
乳化・発酵素材	2024 修正予想	59,900	+882	-	-	13,500	▲939	18,200	+1,801	-	-	91,600	+1,744
	2024 期初予想	59,700	+682	-	-	14,900	+460	20,400	+4,001	-	-	95,000	+5,144
	2023 実績	59,017	-	-	-	14,439	-	16,398	-	-	-	89,855	-
大豆加工素材	2024 修正予想	35,000	+298	-	-	-	-	600	▲170	100	+100	35,700	+227
	2024 期初予想	36,000	+1,298	-	-	-	-	900	+129	200	+200	37,100	+1,627
	2023 実績	34,701	-	-	-	-	-	770	-	0	-	35,472	-
売上高計	2024 修正予想	211,300	+14,262	274,800	+41,609	73,500	+13,000	35,300	+6,936	50,100	+5,104	645,000	+80,912
	2024 期初予想	204,100	+7,062	245,900	+12,709	67,500	+7,000	34,300	+5,936	48,200	+3,204	600,000	+35,912
	2023 実績	197,037	-	233,190	-	60,499	-	28,363	-	44,995	-	564,087	-

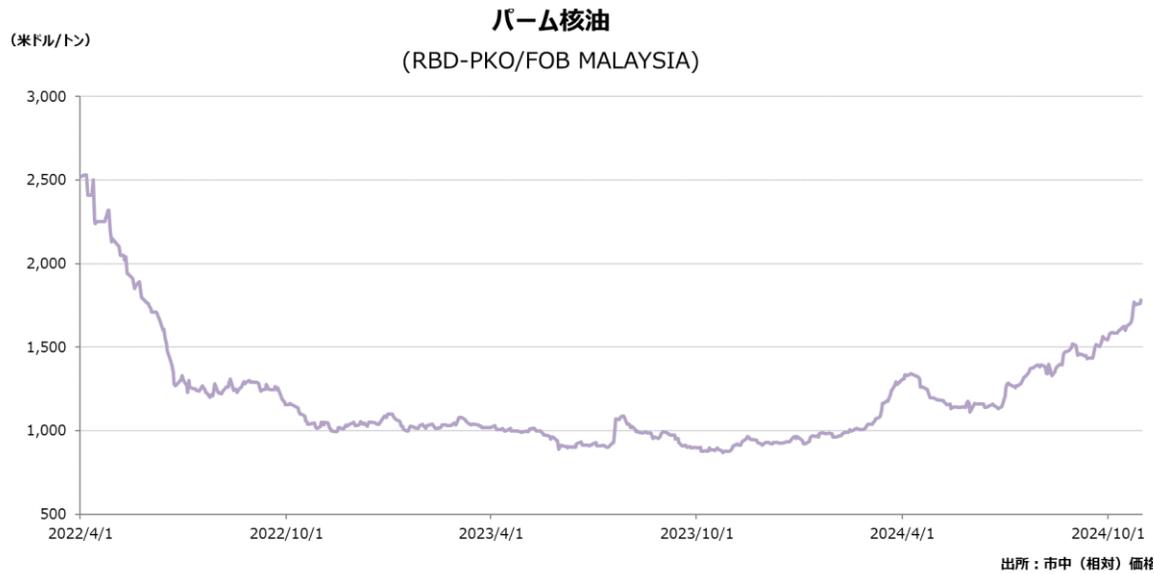
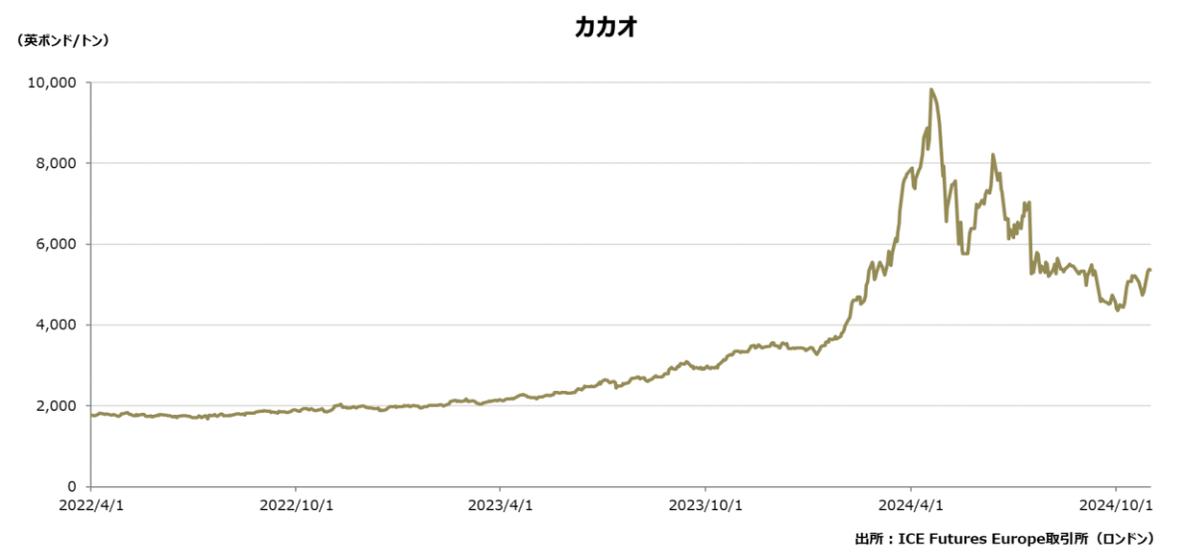
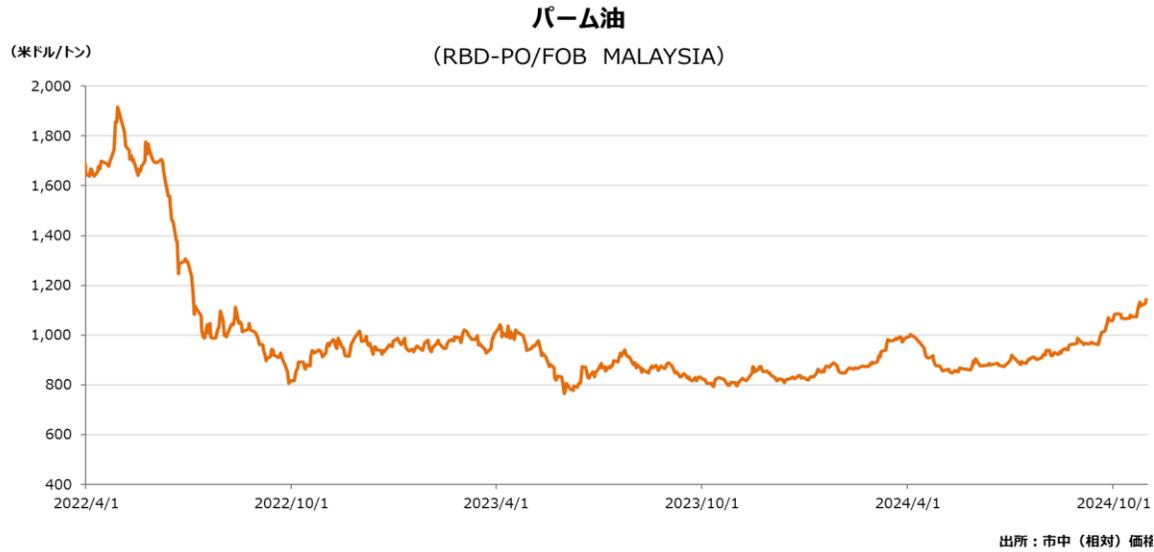
営業利益	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
			YOY		YOY		YOY		YOY		YOY		YOY		YOY		YOY
植物性油脂	2024 修正予想	7,227	+1,402	3,834	▲472	5,452	+3,303	48	+43	3,091	+9	▲87	▲160	-	-	19,565	+4,125
	2024 期初予想	4,907	▲919	2,824	▲1,482	2,526	+377	▲3	▲8	2,021	▲1,060	27	▲46	-	-	12,302	▲3,138
	2023 実績	5,825	-	4,306	-	2,148	-	4	-	3,081	-	73	-	-	-	15,439	-
業務用 チョコレート	2024 修正予想	6,980	+718	▲7,170	▲504	2,397	+1,095	1,323	+1,101	986	+308	▲60	▲104	-	-	4,456	+2,614
	2024 期初予想	5,355	▲906	144	+6,808	1,512	+210	17	▲204	370	▲307	27	▲17	-	-	7,426	+5,585
	2023 実績	6,261	-	▲6,664	-	1,301	-	221	-	676	-	44	-	-	-	1,840	-
乳化・発酵素材	2024 修正予想	2,922	▲609	-	-	185	+492	108	▲466	-	-	▲108	▲102	-	-	3,107	▲686
	2024 期初予想	2,808	▲723	-	-	30	+337	658	+84	-	-	32	+37	-	-	3,528	▲266
	2023 実績	3,531	-	-	-	▲306	-	574	-	-	-	▲5	-	-	-	3,793	-
大豆加工素材	2024 修正予想	1,256	▲300	-	-	-	-	372	+96	▲792	+92	46	▲48	-	-	881	▲158
	2024 期初予想	1,612	+56	-	-	-	-	386	+110	▲676	+209	38	▲56	-	-	1,359	+319
	2023 実績	1,555	-	-	-	-	-	275	-	▲884	-	94	-	-	-	1,040	-
連結調整	2024 修正予想	▲5	▲133	▲25	▲11	▲33	▲55	7	+14	34	▲23	355	+532	-	-	334	+323
	2024 期初予想	-	▲127	-	+13	-	▲22	-	+6	-	▲57	-	+177	-	-	-	▲10
	2023 実績	127	-	▲13	-	22	-	▲6	-	57	-	▲177	-	-	-	10	-
グループ 管理費用	2024 修正予想	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲4,842	▲931	▲4,842	▲931
	2024 期初予想	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲4,615	▲704	▲4,615	▲704
	2023 実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲3,910	-	▲3,910	-
営業利益計	2024 修正予想	18,379	+1,078	▲3,361	▲988	8,001	+4,835	1,858	+788	3,319	+387	146	+117	▲4,842	▲931	23,500	+5,286
	2024 期初予想	14,681	▲2,620	2,968	+5,339	4,068	+901	1,059	▲10	1,715	▲1,215	124	+95	▲4,615	▲704	20,000	+1,787
	2023 実績	17,301	-	▲2,371	-	3,166	-	1,069	-	2,930	-	28	-	▲3,910	-	18,213	-

3

参考資料



主要原料推移 (～2024年10月末)



不二製油グループ本社株式会社

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、予想の前提、予測を含んで記載しており、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。